

平成 25 年 度

事 業 報 告 書

公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

事業報告書

平成 25 年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び関係団体と連携し次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求署名運動の推進

ア 署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び関係団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

① 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日等：6 月 19 日(水) 札幌市 出席者：9 名

参加団体：公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会ほか 5 団体

② 北方領土返還要求署名活動の実施

平成 25 年度署名者数	平成 25 年度末累積署名者数	摘 要
1, 030, 449	85, 962, 720	平成 25 年度関係機関・団体別署名収集数は 巻末資料 1 参照

イ 国会請願及び政府・国会要請の実施

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、政府及び国会に対し要請を行った。

① 国会請願

北方領土の早期返還の実現を期し、衆・参両議院に 160 万人分の署名を添えて請願を行った。

請願期日	請 願 先	場 所	摘 要
11 月 20 日(水)	衆議院議長 伊吹 文明 出席議員 衆議院外務委員会 委員長 鈴木 俊一 ほか 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長 安住 淳 ほか	衆議院 第 1 議員会館	<紹介議員> 宮路 和明 菊田 真紀子 坂口 直人 佐藤 英道 杉本 かずみ 赤嶺 政賢 玉城 デニー

請願期日	請 願 先	場 所	摘 要
11月20日(水)	参議院議長 山崎 正昭 出席議員 参議院外交防衛委員会 委員長 末松 信介 ほか 参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長 林 久美子 ほか	参議院議員会館	<紹介議員> 島尻 安伊子 藤末 健三 河野 義博 江口 克彦 紙 智子 儀間 光男

② 政府要請

北方領土返還促進に関する要請を行った。

要請期日	要 請 先	場 所	摘 要
4月23日(火)	内閣総理大臣 安倍 晋三 内閣府北方対策担当大臣 山本 一太 外務大臣 岸田 文雄 国土交通大臣 太田 昭宏	総理大臣官邸	日露首脳会談前に要請 <要請者> 北海道知事 北方同盟会長 理事長 専務理事

(2) 北方領土問題早期解決の要請

北方領土の早期一括返還、元居住者の権益保護、後継者の育成強化などについて政府及び国会等に要請を行った。

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
5月31日(金) 根室市	○北方領土問題の早期解決	宇山ロシア課長	両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 青連協会長 根室支部副支部長
6月1日(土) 羅臼町	○北方領土問題の早期解決	自民党・政務調査会 「領土に関する特命委員会」	萬屋副理事長
6月17日(月) ～18日(火) 東京都	○北方領土問題の早期解決	山本北方対策担当大臣 荒井衆議院沖北委員長 猪口参議院沖北委員長 自民党道選出国會議員	両副理事長 専務理事
9月8日(日) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	石破自民党幹事長	河田副理事長 根室支部長 他

9月12日(木) 根室市	○北方領土の早期一括返還	阪本内閣府審議官	両副理事長 根室管内各支部長 青連協会長
9月24日(火) ～25日(水) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会	両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 根室管内各青年部長 根室支部副支部長
10月8日(火) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	山口公明党代表	両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 青連協会長
11月9日(土) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	後藤田内閣府副大臣	両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 根室管内各青年部長 根室支部副支部長
11月16日(土) 根室市	○北方領土問題の早期解決	自民党・政務調査会 (領土に関する特命委員会)	両副理事長
11月18日(月) ～19日(火) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成	北海道議会北方領土対策特別委員会	両副理事長 根室管内各支部長 根室管内各青年部長
12月4日(水) 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会参考人招致	萬屋副理事長
12月17日(火) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会	両副理事長 専務理事 根室管内各支部長

(3) 北方領土問題に関する研修

ア 北方領土問題セミナー

北方領土問題に対する理解を深めるため、理事、監事及び一般住民を対象とするセミナーを開催した。

開催期日等	内 容
4月24日(水) 札幌市 出席者 43名	①講演 演題：「プーチン大統領と『引き分け論』」 講師：若宮 啓文 氏 ②質疑等

イ 北方領土問題地域学習会

北方領土問題への理解と認識を深めるため、各地域の元島民等や地域住民を対象に地域学習会を開催した。

主管支部	開催期日等	内容
釧路支部	12月7日(土) 釧路市 出席者 35名	①講演 演題：「千島連盟と北方領土問題」 講師：専務理事 田村 明 ②釧路支部活動報告 堀江 則男 氏
標津支部	2月1日(土) 標津町 出席者 50名	①講演 演題：「“見えない壁”をどう越えるか」 講師：毎日新聞社報道部・根室 本間 浩昭 氏 ②後継者による語り部 小野瀬 稔之 氏

ウ 島民組織代表者会議

元島民の立場から、北方領土問題の現状等や自由訪問事業等について協議検討し、相互の連携を深め北方領土問題への理解と協力を得るため、代表者懇談会及び代表者会議を開催した。

開催期日等	議題
【代表者懇談会】 8月27日(火) 根室市 出席者 15名	①平成25年度における主要事業の実施(予定)状況について ②自由訪問及び北方領土墓参に対する意見交換について
【代表者会議】 10月1日(火) 根室市 出席者 20名	①平成25年度における主要事業の実施(予定)状況について ②平成25年度自由訪問事業の実施状況について ③平成25年度北方領土墓参の実施状況について ④平成25年度北方四島交流の実施状況(訪問該当分)について ⑤平成26年度自由訪問事業等の実施箇所検討資料(案)について ⑥北方領土関連資料保存整備事業について ⑦会費未納会員に係る取組みについて

エ 指導者養成研修会

北方領土問題について一般国民の理解と協力を得ることを推進するため、各支部の役員等を対象に返還運動のあり方、当連盟の実施事業等について検討協議する研修会を開催した。

開催期日等	内容
5月28日(火) 札幌市 出席者 25名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③後継者の育成 ④組織活動の強化

(4) 北方領土関連資料の収集・保存

元島民等が所有する北方領土関連資料を収集・保存するとともに、北方四島における昔と今を写真で比較したDVDを収納した冊子「移りゆく北方四島(国後島・色丹島)」を作成した。また、昨年度作成した北方四島の“戦前の白黒写真”と“現在のカラー写真”を使い、昔と今を比較したパネル展示を各地で開催した。

(5) 地域活動の推進

それぞれの地域で実施している北方領土返還要求運動推進事業を支援するため、千島連盟各支部へ活動交付金を交付し、また、青年部を設置している支部には、後継者による返還要求運動を推進するための活動交付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

(6) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び関係団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行 事 名 等	行 事 名 等
8月4日 北方領土返還要求根室市民大会(根室市)	1月25日 第28回“北方領土を考える”高校生弁論大会(札幌市)
8月18日 第32回北方領土ノサップ岬マラソン大会(根室市)	2月5日 第65回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名活動(札幌市)
8月23日 2013北方領土返還要求北海道・東北国民大会(札幌市)	～11日
9月15日 連合「2013平和行動in根室」(根室市)	2月7日 平成26年北方領土返還要求全国大会(東京都)
9月29日 第9回北方領土まで歩こう会(根室市)	2月7日 2014北方領土フェスティバル(札幌市)
11月20日 第31回北方領土返還要求山形県民大会(米沢市)	2月7日 平成26年「北方領土の日」祈念大阪府民大会(大阪市)
12月1日 北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	2月7日 2014「北方領土の日」根室管内住民大会(根室市)

2 北方領土問題に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

(1) 啓発活動の推進

ア 各種啓発事業の実施

地域住民等に、北方領土問題への理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、千島連盟の各支部を中心とした地域において、啓発資料の作成、「語り部」等による講演会、パネル展示、イベント会場等での署名活動など、各種啓発事業を行った。

イ 啓発推進員の配置

地域住民等の北方領土問題への理解と協力を得るため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津、羅臼及び富山の各支部に「啓発推進員」(通称「推進員」)を配置し、啓発活動や元島民及び後継者の返還要求運動への参加促進を図った。

(2) 広報紙の発行

返還要求運動や啓発事業、情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」(228号、229号、230号)を各5,000部発行し、会員及び関係機関・関係団体等のほか、希望する一般住民へ配布した。

(3) 「北方領土の語り部」事業

ア 語り部の育成

元島民後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行うとともに、学生や地域住民を対象に発表会を行った。

対象支部	開催期日等	出席者	語り部
富山支部	10月9日(水) 黒部市	元島民等 12名 入善町立西中学校 第2学年 135名	元島民：吉田 義久 氏 後継者：吉田 実 氏 ほか
函館支部	1月25日(土) 函館市	元島民等 23名 一般 9名	元島民：櫻井 和子 氏 後継者：木野 貴夫 氏 濱松 禎高 氏

イ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として登録されている元島民や後継者を関係機関及び関係団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

<派遣状況>

派遣事業名(主催)	派遣数	派遣事業名(主催)	派遣数
北方四島交流事業研修会(道推進委・北対協)	13名	えとぴりか巡回研修会(北対協)	6名
各都府県民大会(各都府県民会議)	3名	北方領土青少年等現地視察支援事業(各県民会議)	22名
元島民の北方領土を語る会(北方同盟)	7名	北方領土の語り部(北対協)	6名
北方領土の語り部(北海道)	27名	その他	35名
		合計	119名

3 北方地域元居住者等の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 援護問題対策事業

ア 援護問題等専門委員会

元居住者等の援護問題について幅広く研究討議を行うため、援護問題等専門委員会を開催するとともに、国及び国会議員等への要請を行った。

① 援護問題等専門委員会の開催

開催期日等	協議事項及び協議結果
第1回 書面委員会 7月16日(火) 決議	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の互選 ・平成25年度の委員会開催日程 ・委員会としての政府・国会等への要請日程
第2回 12月3日(火) 札幌市 出席者6名	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財産権の不行使に対する補償 ・北対協から融資制度の現状についての説明 <p><主な意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の補償について、国は満州や樺太と一緒に考えているため先に進まない。北方領土問題は別にして考えるべきである。 ・北対協融資の承継が一人だけというのは問題である。 ・援護委員会の検討・協議事項を意見具申として理事長に提出したが、理事からも意見に対する簡単な返答等が欲しかった。
第3回 3月4日(火) 札幌市 出席者7名	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財産権の不行使に対する補償 ・平成26年度援護問題等専門委員会開催日程 ・70年事業に関連した慰霊碑建設 <p><主な意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財産権の不行使の検討に当たっては、援護委員会で示すかどうかである。 ・旧漁業権の補償額については、基礎数値に基づき、置き換えながら最終的に数字を算出した。 ・旧漁業権は北方領土の財産の一つであり、残置財産も土地も解決していないため、漁業者だけが要望しても答えには繋がらなかった。 ・財産権の不行使に対する補償額については、算出するにしても、計算式をどうするかであり、今後検討していく。

② 国及び国会議員等への要請活動

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
2月21日(金) 東京都	<ul style="list-style-type: none"> ○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実 	内閣府北方対策本部参事官 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長、理事ほか	委員長 副委員長 専務理事

イ 援護対策相談事業

北方領土問題に関連する諸問題の一つである元居住者等の戸籍、在島残置財産、北対協融資制度等の援護問題について、相談・助言を行った。

① 戸籍、在島残置財産相続に係る指導、助言

元居住者等の戸籍、在島残置財産である土地、建物の相続申出手続き等について指導、助言を行った。

② 北対協融資制度利用に関する相談、助言

元居住者等の援護措置として設けられている北対協融資制度の利用に関し、相談、助言を行った。

③ その他援護問題に関する指導、助言

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪 問 日	訪 問 先	訪 問 日	訪 問 先
3 月 30 日 (土)	標 津 支 部	4 月 21 日 (日)	根 室 支 部
4 月 7 日 (日)	オホーツク支部	4 月 27 日 (日)	釧 路 支 部
4 月 14 日 (日)	道 央 支 部	5 月 10 日 (金)	中 標 津 支 部
4 月 15 日 (日)	函 館 支 部	6 月 8 日 (土)	富 山 支 部
4 月 20 日 (土)	別 海 町 支 部	2 月 7 日 (金)	関 東 支 部
4 月 20 日 (土)	羅 臼 支 部	3 月 9 日 (日)	厚 岸 支 部
4 月 21 日 (日)	道 北 支 部	3 月 16 日 (日)	浜 中 支 部
4 月 21 日 (日)	十 勝 支 部		

(2) 北方四島への自由訪問の実施

北方領土問題解決のための環境整備及び人道的観点から、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。

区分	訪問地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1回	水晶島 茂尻消 ボッキゼンベ	5. 22 ～ 5. 24	元島民等 29 子の配偶者等 0 同行者 11 計 40	えとぴりか	荒天のためボッキゼンベは上陸できず洋上慰霊祭実施
第2回	択捉島 ペケンリタ オダイベケ 留別 ポンヤリ	6. 7 ～ 6. 10	元島民等 33 子の配偶者等 5 同行者 11 計 49	えとぴりか	
第3回	国後島 ブニ(秩苅別) オタトミ 古丹消 ハッチャス	6. 28 ～ 7. 1	元島民等 46 子の配偶者等 5 同行者 11 計 62	えとぴりか	
第4回	国後島 乳呑路 礼文磯 白糠泊	7. 9 ～ 7. 12	元島民等 50 子の配偶者等 1 同行者 11 計 62	えとぴりか	
第5回	水晶島 秋味場 秋勇留島 オタモイ(税庫)	8. 6 ～ 8. 8	元島民等 25 子の配偶者等 2 同行者 11 計 38	えとぴりか	荒天のためオタモイは上陸できず洋上慰霊祭実施
第6回	択捉島 フシココタン 紗那 (リコップ・オナイ) 別飛	8. 23 ～ 8. 26	元島民等 42 子の配偶者等 9 同行者 11 計 62	えとぴりか	
第7回	色丹島 アナマ 稲茂尻	9. 10 ～ 9. 12	元島民等 40 子の配偶者等 4 同行者 11 計 55	えとぴりか	

(3) 北方領土墓参事業

人道的見地から北海道が実施している北方領土墓参について、北海道からの委託事業として、団員選考等の業務を行うほか、当連盟事業として訪問墓地での慰霊、法要を行った。

区分	墓参地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1班	色丹島 能登呂 キリトウシ チボイ	7. 19 ～ 7. 22	遺族 23 同行者 13 計 36	北海道漁業取締船 北王丸	
第2班	国後島 ポンキナシリ 中ノ古丹	7. 24 ～ 7. 26	遺族 26 同行者 13 計 39	北海道漁業取締船 北王丸	
第3班	択捉島 年萌 オンネベツ トマカラウス	7. 29 ～ 7. 31	遺族 30 同行者 13 計 43	北海道漁業取締船 北王丸	年萌は、年萌地区を遠望できる場所で慰霊祭を実施。 トマカラウスは、オンネベツで合同慰霊祭を実施。

(4) 北方四島交流事業（ビザなし訪問）

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流事業（訪問）に次のとおり参加した。

実施主体	期間	参加者数		訪問先	備考
			うち元島民等		
道推進委	5. 17～5. 20	62	13	国後島 色丹島 国後島・択捉島 国後島	後継者（荒天のため中止） 教育関係者・青少年
	5. 31～6. 3		15		
	8. 16～8. 19		—		
	9. 13～9. 16		1		
小計	3回	191	29	—	—
北対協	7. 4～7. 8	65	6	国後島・色丹島 色丹島 国後島 国後島・択捉島	都道府県民会議主体の船 （荒天のため1日短縮） 教育関係者・青少年 後継者 北連協主体の船
	8. 2～8. 5	63	1		
	8. 30～9. 2	63	4		
	9. 19～9. 23	64	5		
小計	4回	255	16	—	—
合計	7回	446	45	—	—

4 後継者の育成

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

(1) 後継者活動の推進

ア 後継者活動委員会

元島民後継者の活動を促進し、後継者の育成を図るため、後継者事業全般について協議検討を行う委員会を開催した。

開催期日等	内 容
5月26日(日)	①後継者活動委員会運営要綱について ②北方領土返還要求後継者街頭啓発事業について ③その他

イ 後継者街頭啓発

後継者対策の強化及び国民の北方領土問題に対する理解と認識を深め、国民世論の高揚を図ることを目的として、街頭啓発事業を計画していたが、会場確保に困難を要し年度内の実施が困難となったため、事業内容を変更し、北対協が実施した啓発イベントで視察研修を行った。

また、啓発活動を一層推進するため、北方領土に関する事柄をクイズ形式で学習できる「北方領土検定」のソフトウェアを作成した。

開催期日等	イ ベ ン ト 名
9月28日(土)～29日(日) 札幌市 参加者 18名	『今が、知るとき。ちゃんと、北方領土』四島の楽校

ウ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派 遣 日	派 遣 先	派 遣 者
12月1日(日)	北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	後継者 5名
2月7日(金)	平成26年北方領土返還要求全国大会(東京都)	後継者 5名

(2) 後継者研修事業

ア 後継者活動促進全国セミナー

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者や若い世代の一般市民を対象に、北方領土問題への理解と認識を深めるためのセミナーを開催するとともに、元島民後継者間の連携強化及び後継者活動の促進を図るため、意見交換を行った。

開催期日等	内 容
10月19日(土) ～20日(日) 札幌市 出席者 31名	①講演 演 題：「安倍政権と北方領土交渉」 講 師：北海道新聞社東京支社報道センター 渡辺 玲男 氏 ②パネルディスカッション テーマ：「外交支援と次世代をつなぐ返還運動」

イ 後継者研修会

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者が、北方領土問題及び北方領土返還要求運動の推進等について協議・検討するとともに、さっぽろ雪まつり会場で署名活動を行った。

開催期日等	内 容
2月10日(月) ～11日(火) 札幌市 出席者 66名	①DVD放映「北方領土」～北方領土の返還を求める都民会議制作～ ②元島民の語り部 色丹島出身 小田島 梶子 氏 ③意見交換 ④署名啓発活動（さっぽろ雪まつり会場）

ウ 北方領土問題現地青年の集い

北方領土問題への認識を深めるため、北方領土の隣接地域において、元島民後継者が企画した研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月11日(土) 羅臼町 出席者 42名	①講演 演 題：「安倍政権と北方領土」 講 師：北海道新聞社東京支社報道センター 渡辺 玲男 氏 ②パネルディスカッション テーマ：「これからの北方領土の行方」

(3) 後継者キャラバン事業

各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長へのアピール及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図るとともに、「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」において北方領土返還運動に取り組む強い決意を表明した。

実施期間等	訪 問 先
8月23日(金)～26日(月) 隊員数 20名	札幌市、恵庭市、千歳市、洞爺湖町、黒松内町、函館市、島牧村、せたな町、上ノ国町、松前町

(4) 北方領土青少年洋上セミナー

若い世代の北方領土問題への理解と意識向上を図るため、一般の青少年を対象に、語り部や洋上視察等を通して北方領土問題について学習する洋上セミナーを元島民後継者が企画し開催した。

開催期日等	参加者	内容
7月28日(日) 羅臼町	元島民後継者 18名 北海道内在住の一般青少年等 73名	①後継者による語り部 ②出前講座(根室高校) ③北方領土ビンゴ ④洋上視察 (航路: 羅臼港～知床岬～羅臼港)

5 千島会館の運営

北方領土問題に関する啓発・研修及び元居住者等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館利活用運営検討会を開催した。

<千島会館の利用状況>

【利用回数】 143回

【利用人数】 延べ 1,827名

6 医療支援促進事業の実施

外務省との委託契約に基づき、我が国政府が、平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島人道支援事業(患者受入事業、医師・看護師等研修事業等)について、北方四島の医療事情及び北方四島の患者等を受け入れている国内医療機関等の状況並びに北方四島住民に対する中・長期的な医療支援という観点から、同事業の枠内で北方四島との遠隔医療について、その可能性を調査の上、医療支援事業に関する提言を含む報告書を外務省に提出した。

7 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求運動推進功労者等の表彰

ア 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策担当)による表彰

多年にわたり北方領土返還運動に尽力し、顕著な功績のあった者が表彰された。

【受賞者】

・矢原 芳 藏(道央支部)・高 橋 孝 志(根室支部)・小 柳 幸 一(富山支部)

イ 千島連盟理事長による表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

【受賞者】

・小田島 梶 子(道央支部)・坂 本 セツ子(道央支部)・佐々木 正 子(道央支部)
 ・高 瀬 貞代子(道央支部)・木 村 儀 治(函館支部)・佐久間 寛(浜中支部)
 ・岩 瀬 安 利(根室支部)・鈴 木 昭 男(根室支部)・角 鹿 泰 司(根室支部)
 ・寺 口 甚 逸(根室支部)・天 神 実(別海町支部)・上 田 正(標津支部)
 ・亀 田 正 二(標津支部)・白 坂 寿美枝(羅臼支部)・油 本 芳 春(富山支部)

(2) 会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元居住者及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成 25 年度新規加入者数】 123 名（元島民 15 名、後継者 108 名）

（会員数の状況は巻末資料 2 参照）

(3) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

ア 通常総会

開催期日等	議 題
5 月 27 日(月) 札幌市 出席者 112 名 委任状及び議決権行使書提出者 1,974 名 計 2,086 名	①平成 25 年度事業計画及び平成 25 年度収支予算に関する件 ②平成 24 年度事業報告及び平成 24 年度決算に関する件 ③理事選任の件 ④監事選任の件

イ 理事会

開催期日等	議 題
第 1 回 4 月 25 日(木) 札幌市 出席者 19 名	①平成 25 年度通常総会の進行次第(案)について ②平成 25 年度通常総会の提出議案(議案書)について ③平成 24 年度事業報告及び平成 24 年度決算に関する件 ④宣言(案)及び決議(案)について ⑤理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況について ⑥千島連盟理事長表彰について ⑦顧問の選任(案)について
第 2 回 5 月 27 日(月) 札幌市 出席者 23 名	①理事長、副理事長及び専務理事の互選について ②企画運営委員会委員の選任について ③名誉顧問の選任について
書面理事会 11 月 25 日(月) 決 議	①収益事業の廃止について ②公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟の変更認定申請書(案)について
第 3 回 2 月 26 日(水) 札幌市 出席者 21 名	①公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟の変更認定について ②理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況報告について ③平成 26 年度事業計画(案)について ④平成 26 年度収支予算(案)について ⑤公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟理事の職務の権限規程の改正(案)について

ウ 監事監査

実施期日等	実施監事	監査対象
第 1 回 4 月 22 日(月) 千島会館	金田 慎吾 工藤 久男	平成 24 年度千島会館の財産・会計の状況及び業務執行の状況
第 2 回 4 月 23 日(火) 連盟事務局	金田 慎吾 工藤 久男	平成 24 年度千島連盟（千島会館を除く）の財産・会計の状況及び業務執行の状況

エ 企画運営委員会

開催期日等	議 題
第 1 回 7 月 30 日(火) 札幌市 出席者 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 25 年度第 1 回報告事項通知書について ②広報紙の編集について ③北方領土関連資料情報発信事業企画委員会所管事項について ④自由訪問、北方領土墓参、北方四島交流訪問の課題について ⑤千島歯舞諸島居住者連盟の発展に関する功労者表彰及び感謝状贈呈規程について ⑥役員の選任手続きについて
第 2 回 12 月 10 日(火) 札幌市 出席者 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ①要請・請願等の状況について ②北方領土関連資料情報発信事業企画委員会所管事項について ③平成 26 年度自由訪問事業計画(案)について ④会費未納会員に係る取組みについて ⑤平成 26 年度予算要求の概要について ⑥千島歯舞諸島居住者連盟の発展に関する功労者表彰及び感謝状贈呈規程について ⑦役員の選任手続きについて ⑧啓発・語り部・70 年事業について
第 3 回 3 月 11 日(火) 札幌市 出席者 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 26 年度事業計画(案)の修正について ②理事長表彰について ③広報紙編集委員会所管事項について ④当面の課題等について <ul style="list-style-type: none"> ア「北方領土の語り部」について イ「千島連盟・戦後 70 年事業(仮称)」について

<資料 1>

平成25年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成25年4月 1 日
至 平成26年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
全国自衛隊父兄会	218,433
長崎県民会議	107,334
北海道	100,406
和歌山県民会議	86,829
北方領土復帰期成同盟	74,411
千島歯舞諸島居住者連盟	63,760
宮城県民会議	62,886
愛知県民会議	57,946
群馬県推進連絡協議会	47,584
山形県北方領土返還促進協議会	35,442
愛媛県民会議	31,776
石川県民会議	22,823
上記以外の県民会議等	66,387
その他	54,432
合 計	1,030,449

※本表は署名数の多い主な団体を掲載

<資料 2>

平成25年度 会員数

(平成26年3月31日現在)

支部名	元島民数 26.3.31現在	平成25年 度正会員 数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	978 (52)	561 (13)	2 (0)	24	327 (13)	208	0	31	592 (13)	
函 館	259 (11)	105 (1)	0 (0)	3	71 (1)	31	0	1	106 (1)	
道 北	214 (4)	100 (0)	1 (0)	1	57 (0)	41	0	0	100 (0)	
オホーツク	297 (6)	171 (3)	1 (0)	6	97 (3)	67	0	3	174 (3)	
十 勝	202 (8)	89 (2)	2 (0)	5	59 (2)	23	0	0	89 (2)	
釧 路	877 (44)	237 (6)	1 (0)	5	164 (6)	67	0	2	239 (6)	
厚 岸	65 (1)	60 (0)	2 (0)	2	33 (0)	23	0	0	60 (0)	
浜 中	55 (5)	57 (3)	0 (0)	0	36 (3)	21	0	1	58 (3)	
根 室	1,393 (60)	735 (7)	2 (0)	16	422 (7)	295	4	18	757 (7)	
別海町	134 (8)	181 (3)	0 (0)	2	76 (3)	103	2	1	184 (3)	
中標津	128 (8)	157 (2)	0 (0)	1	72 (2)	84	4	16	177 (2)	
標 津	80 (5)	99 (2)	1 (0)	0	39 (2)	59	0	1	100 (2)	
羅 臼	115 (7)	114 (3)	0 (0)	8	40 (3)	66	2	0	116 (3)	
関 東	734 (64)	445 (8)	1 (0)	16	217 (8)	211	0	5	450 (8)	
富 山	509 (5)	383 (2)	0 (0)	7	214 (2)	162	1	5	389 (2)	
支部 以外	道内	309 (11)	117 (4)	1 (0)	3	77 (4)	36	1	9	127 (4)
	道外	578 (32)	299 (10)	1 (0)	9	161 (10)	128	0	8	307 (10)
合 計	6,927 (331)	3,910 (69)	15 (0)	108	2,162 (69)	1,625	14	101	4,025 (69)	

※元島民数及び正会員数の()は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う
新元居住者の内数